広報伊方町

発行人 愛媛県西宇和郡伊方町
編集 伊方町町民室
印刷所 尾上印刷所 八幡浜市天神通 ☎(0894)2…

第51回定例町議会終る

決算など十五議案を可決

伊方町議会第五十一回定例会は十二月二十二日（会期一日間）午前九時役場会議室に招集され、昭和四十一年度一般会計決算の認定について。

(イ)、昭和四十一年度伊方町町誌出版特別会計歳入歳出決算認定について。

(ロ)、有寿来辺地に係る総合整備計画の策定について。

(ハ)、昭和四十二年度伊方町一般会計補正予算（第六号）。

(ニ)、昭和四十二年度伊方町水道事業会計補正予算（第一号）。

(ホ)、昭和四十二年度伊方町町誌出版特別会計予算。

補正予算について

今度の議会で議決された補正予算のうち一般会計予算は、四、四一三万円で、これを今までの予算と合算すると総額三億〇、六四三万円となり初の三億円の大台に乗ったわけです。

◎補正予算の主な内容

総務費＝仁田之浜集会所新築／八一万円が主なものです。

民生費＝県単児童遊園地設置費四二万円が計上されており、西、河内両部落に設置されます。

農林水産業費＝二見農道開設工事費七八万円（延長一一五メートル、巾員三・五メートル）県単漁港整備事業として七五万円、この事業は、田之浦突堤（五・五メートル）新設工事として計上されています。

土木費＝町道湊浦伊方越線改修工事費九八〇万円、この工事は、現在の伊方越線・一・一一メートルを改修することによって道路幅一・八メートルを四メートルに拡張し今まで中型車以上の乗り入れが出来なかったものを、この工事が完成すれば大型車の乗入れも容易になります。

豊之浦長崎線改良三八五万円

国道1豊之浦小学校までの四八〇メートルを改良（巾員四メートル）し自動車の通行を便利にするため計上されています。

産開伊方、八幡浜線新設事業三二九万円（延長一五二メートル、巾員七メートル）

仁田之浜道路改良九六万円（延長二十八メートル、巾員四メートル）

湊浦道路舗装工事八二万円などが主なものです。

昭和四十一年度一般会計決算については、先月の町報であらましお知らせいたしましたので省略します。

(ヘ)、伊方町職員定数条例の一部を改正する条例制定について。

(ト)、伊方町消防費じゅつ金条例を廃止する条例制定について。

(チ)、非常勤の職員の公務災害補償に関する条例制定について。

(リ)、愛媛県町村議会議員公務災害補償組合の設置について。

(ヌ)、伊方町学校給食センター設置条例制定について。

(ル)、非常勤職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について。

(ヲ)、昭和四十一年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について。

(ワ)、昭和四十一年度国民健康保険特別会計決算の認定、学校給食センター設置条例の制定、昭和四十二年度一般会計補正予算など慎重審議の結果、全議案を可決いたしました。

可決された議案は次のとおりです。

(イ)、昭和四十一年度一般会計歳入歳出決算認定について。

(ロ)、決算剰余金の積み立てについて。

(ハ)、昭和四十一年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について。

(ニ)、職員恒金組合規約の一部変更について。

(ホ)、伊方町消防費じゅつ金条例を廃止する条例制定について。

(ヘ)、伊方町職員定数条例の一部を改正する条例制定について。

(ト)、有寿来辺地に係る総合整備計画の策定について。

(チ)、昭和四十二年度伊方町一般会計補正予算（第六号）。

(リ)、昭和四十二年度伊方町水道事業会計補正予算（第一号）。

(ヌ)、昭和四十二年度伊方町町誌出版特別会計予算。

補正予算について

今度の議会で議決された補正予算のうち一般会計予算は、四、四一三万円で、これを今までの予算と合算すると総額三億〇、六四三万円となり初の三億円の大台に乗ったわけです。

◎補正予算の主な内容

総務費＝仁田之浜集会所新築／八一万円が主なものです。

民生費＝県単児童遊園地設置費四二万円が計上されており、西、河内両部落に設置されます。

農林水産業費＝二見農道開設工事費七八万円（延長一一五メートル、巾員三・五メートル）県単漁港整備事業として七五万円、この事業は、田之浦突堤（五・五メートル）新設工事として計上されています。

土木費＝町道湊浦伊方越線改修工事費九八〇万円、この工事は、現在の伊方越線・一・一一メートルを改修することによって道路幅一・八メートルを四メートルに拡張し今まで中型車以上の乗り入れが出来

（議会風景）

◇なんでも話そう！
◇なんでも聞こう！
◎親と子

戸籍手数料が改正になりました

戸籍手数料政令の一部改正にもとづき一月一日より戸籍の手数料が、次のとおり改正されました。

○戸籍謄本又は抄本 一枚（五名まで）につき五〇円

○戸籍謄本又は抄本 一枚につき（三名まで）五〇円

○戸籍閲覧 一戸籍につき 五〇円

○住民票、戸籍附票閲覧 一件につき 三〇円

○転出証明書 一枚につき 五〇円

○印鑑証明 一枚につき 五〇円

○住民票の写し です。

なお、このほか住民台帳関係手数料につきましては、次のとおり

1月から福祉年金が増額されました

七十歳以上のお年寄りや、国民年金の保険料を納める期間のなかった重度の身体障害者、母子家庭などの人には、昭和三十四年から福祉年金が支給されています。

この福祉年金は、全額国の予算で支払われていますので、保険料を納めている国民年金にくらべて、受ける資格に制限があるほか、年金額も低くなっています。

しかし、福祉年金は毎年のように改善されており、ことしも昨年に引き続いて年金額が増額されます。

たほか、いろいろの制限もゆるめられました。

福祉年金の額は、昭和四十三年一月から次のように増額されました。

老令福祉年金は、一、二〇〇円増額されて一九、二〇〇円。

障害福祉年金は、三、六〇〇円増額されて三〇、〇〇〇円。

母子および準母子福祉年金も、三、六〇〇円増額されて二四、〇〇〇円。

年金額は、福祉年金が支給されはじめた当時にくらべ、いまでは一、六倍から二倍の金額になっています。このほか、所得による制限や公的年金受給による制限もずいぶんゆるめられています。

七十才以上のかたなどで、まだ福祉年金の請求をしていない人はまだ受付の日時は決定していませんが、入所ご希望のかたは、役場より連絡がありしだい、部落区長さんまたは、民生委員さんに申

〝愛煙家の皆さん〟

「たばこ」は町内で買いましょう

「たばこ」を町内で買うことによって、町の収入がふえます。

毎日皆さんが吸っているたばこには「たばこ消費税」という税金がかかっています。

たばこ消費税は県や市町村のたばこ販売実績に応じて、それぞれに県や市町村に還元されます。

たとえば皆さんが町内のたばこ屋さんで、次のたばこ一個買えばがたばこ消費税として還元され町の収入になります。

ピース（二十本入）	14円
ピース（十本入）	7円
ハイライト	12円
ひびき	10円
わかば	9円
いこい	9円
新生	7円
バット	5円

当町の本年度たばこ消費税の収入見込額は五一七万円で、町の台所に大きな役割を果たしております。そこで、町外への通勤や外出旅行などのとき、あるいは、送り物たばこは、必らず町内のたばこ屋さんで買いましょう。

交通相談所を設置

役場町民室に

交通事故の被害者で困っていることや、不審な点がありましたら相談所でなっとくするまでおたずねください。

また、この相談所が交通事故をなくすることによって多忙でないことを祈りたいものです。

交通事故の被害者で困っているのように交通犠牲者の惨事が報道されています。

昨年は、町内でも二件の死亡事故が発生し、尊い生命を失いました。

交通事故の被害者で困っている人や、不審な点がありましたら相談所でなっとくするまでおたずねください。

また、この相談所が交通事故をなくすることによって多忙でないことを祈りたいものです

新春をかざる消防団出初式

消防の意気込みを披露

（機械器具の点検）

今年は自治体消防が発足してから二十年を迎えました。

この記念すべき年の昭和四十三年度伊方町消防団出初式は一月八日伊方中学校の校庭で挙行されました。

寒風吹くなかを町内二十一ケ分団員三四名が出動して来賓、町民多数がみまもるなかで団歌斉唱、人員服装、機械器具の点検、ポンプ操法、分列行進が厳粛に行なわれ消防団の手で"町民の生命・財産を災害から守る"という気魂が感じられました。

つづいて表彰式がつづき永年消防団員として活躍されたかたがたに消防庁長官より感謝状並に記念品がおくられたほか、県知事表彰などを各方面から表彰状、感謝状、記念品などがおくられ盛大に終了いたしました。

表彰者は次のとおりです。

◎日本消防協会長表彰

松田文治郎

◎愛媛県知事表彰

古川国治、井上昭栄

◎愛媛県消防協会長表彰

中田丈純、田上　純、上野弘

上田宗雄、三根生竹信、渕下

勝美、岩田一夫、吉田一男

◎八西消防連合会長表彰

大黒実、川上勝一、佐竹秀信

大黒英機、奥本鶴、中島計子

樹田光康、高野通、大山則行

◎町長表彰

山崎吉四郎、菊池忠雄、向上

守、藤家百男、野村泰治、大

通源市、井上忠太郎、阿部義

広、福島秋文、岸田富士弥、

阿部一幸、下向定男、横岡与

志富、谷村泰雄、松川克之

大山忠義、西村秋夫、井桜清

司、山下忠太郎、吉田国度、

竹上富記

◎町長感謝状

鉾田勝数、渡辺菊義、宇都宮

勇、佐竹吉雄、竹場兼男、西

宇和砂利組合

まずは〝火の用心〟

□一筆啓上火の用心……

□火事と喧嘩は江戸の花

□地震、雷、火事、親父

と古き世から火事にまつわる言葉を多く聞きますが、近代文明の発達した現在でも言とかわらず、いつの時代でもまず何がなんでも火の用心です。

火災は、幸福な生活を苦しめた人々を一挙に不幸のどん底に突き落します。また、火災の原因はちょっとした不注意から起こるものですから、恐ろしい火災を予防するためには、ひとりひとりのふだんの心がけが大切です。

そこで、次のことを毎月の生活の中で特に注意して下さい。

◎寝る前に火の元の点けんを必ずする。

◎たばこの吸い殻は、寝たばこ、チャイムを同保育所のアイドルとはやめる。

さあねよう　アッ！　そのまえに火の点けん

無事故を祈る

交通安全祈願祭

伊方交通安全協会は、交通事故の撲滅を祈り、今年最初の交通事故ゼロの日にあたる一月二十日に交通安全塔（仁田之浜部落の上田泰一郎氏が交通事故の悲劇を二度とくりかえさないよう建立したものです）が建設された仁田之浜国道現地で神官を迎え町長はじめ、交通安全機関の関係者多数が参加しておごそかに行なわれました。

最近町内でも交通事故が増加傾向にありますが、昨年一年間の全国の交通事故死傷者は六十五万人で平均四十八秒に一人の割合で交通犠牲者がでている計算になるそうです。毎日、この日本の空の下でとこかで交通事故が起っており、国民一五三人に一人の割合で車にキズつけられているそうです。世はまさに交通戦争です。

人ごとではありません、いつ我が身に事故がふりかかるかわかりません。この無事故を祈る祈願祭において伊方交通安全協会では、交通事故防止に努めることを宣言いたしました。

わたしたちも、日々の生活の中で、運転者は次の宣言をよく守りまた、歩行者は正しい道路の歩き方と正しい道路の横断につとめ町内から交通事故を一掃いたしましょう。

〝宣　言〟

私達は運転者のほこりを持ち、人命を尊重する崇高なる精神により、交通事故の惨禍をなくするため、次の各項を遵守し交通事故防止に努めることを誓います。

一、私達は車両の完全なる整備に努めます。

二、私達は無免許運転の追放に努めます。

三、私達は飲酒運転をいたしません。

四、私達はスピードのだしすぎをしないよう、安全運転に努めます。

五、無理な追越しをいたしません。

右宣言いたします。

昭和四十三年一月二十日

伊方交通安全協会

豊之浦保育所へ善意のお金

贈り主はオバキューさん

豊之浦保育所へ昭和四十一年五月からいままで、六回にわたって匿名で所長さんあて、善意のお金が贈られています。

差し出し人は「子供達のアイドル、オバキューより」と書かれているだけで贈り主はわかりませんが、残金なことに贈り主がわかりませんが、わかりしだいお礼を申し上げたい」と語っておられます。

この心のやさしい「子供達のアイドル、オバキュー」さんに、紙上より厚くお礼申し上げます。

どなたか、心あたりのお方がありましたら、役場町民室、または豊之浦保育所へ連絡して下さい。

井上所長さんは「このせちがらい世の中で、このような嬉しい善意のお金に感謝しております。園児達もたいへんよろこんでおりますが、残金なことに贈り主がわかりません、わかりしだいお礼を申し上げたい」と語っておられます。

この心のやさしい「子供達のアイドル、オバキュー」さんに、紙上より厚くお礼申し上げます。

どなたか、心あたりのお方がありましたら、役場町民室、または豊之浦保育所へ連絡して下さい。

厚生金庫へ二千円寄贈

伊方町商工会青年部

伊方町商工会青年部（部長梶谷三郎）では、町内に居住する被保護世帯並びに要保護世帯の自立更生のために役立てほしいと町の厚生金庫へ二千円寄贈されました。紙上より厚くお礼申し上げます。

お礼

宇和島市和霊町一丁目三ノ二五にお住いの由中鶴市氏（仁田之浜出身）より一千円、宮崎県延岡市中島町四丁目にお住いの足立清春氏（大浜出身）より一千円、又福岡県大牟田市西浜三にお住いの元岡キヨカさん（川永田出身）より五百円それぞれ広報編集の費用にとご寄附いただきました。

紙上より厚くお礼申し上げますとともに、ご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

人

昭和42年12月末現在　世帯数　2,498戸

人口　10,383人　男　4,986人　女　5,397人

婚姻

昭和42年12月1日～12月31日

出生

昭和42年12月1日～12月31日

死亡

昭和42年12月1日～12月31日